

令和7年度
総合福祉施設 京都桂川園 事業報告書

1. 事業総括

令和7年度は、「基本理念・行動方針に沿って、職員一人ひとりが力を発揮し、支え合える職場環境を目指す」というスローガンを掲げ重点項目について取り組んだ。

特に「不適切ケアの防止や気づきを発信できるしくみづくり」「経営改善の取り組み」「将来に向けた老朽化対策」「標準的なケアのためのマニュアルの整備」「将来の担い手育成を含む福祉教育の実施」に努めた。詳細は重点実施項目の通り。

2. 重点実施項目

① 働きがいのある組織づくり（人材確保・職員育成）

- ・人材確保・職員育成について、高齢・障害4施設に内にて『よつ葉みらいプロジェクト』を発足、運営の中心メンバーとして当園副園長を配置、能動的な採用・広報・親睦・育成等の取り組みを実施した。
- ・外国籍労働者への法人内の取り組み（桜寮整備、労働環境・育成体制整備）に積極的に協力、園内でも業務管理及び育成体制・困りごとの相談受付体制の見直しを行った。
- ・人事考課制度の本格運用を開始、年2回のフィードバックの機会にて、職員の希望や思いに着目し、職員への期待や成長について聴き・伝えるしくみが定着した。
- ・育児介護休業法等の改正に伴う労務管理の見直し、ハラスメント対策の強化を行った。

② 経営基盤の充実への取り組み

- ・法人内担当者のサポートの下、市の施設整備担当者と懇談の機会を持ち、老朽化対策の検討を行った。また法人内ファシリティマネジャーの指揮により保守業者を変更、修繕等管理体制が改善した。
- ・久世拠点のショートステイは、令和7年9月末で廃止し、生活介護に特化した運営体制とした。
- ・障害サービス全般の収益アップのために、職員配置の安定化を目指し、常に上位加算を取得できるか点検し、配置調整を行い改善に努めた。
- ・行事・食事に係る経費、消耗物品及びその購入の仕組みを見直し、経費削減に努めた。
- ・生産性向上の取り組みについて、ICT化の検討に加え、各部署の共通課題を整理し対策を行った。
- ・協力医療機関との連携は、定期及び日常的に実施可能な状況となった。
- ・療護園新規ケースの傾向（医療的ケアの増加）への対応策について検討を開始した。

③ サービスの質の向上・維持・確保

- ・年間を通して介護事業所における不適切ケア・理念・基本方針の浸透、福祉倫理観の醸成のための研修・業務見直し・気づきが発信しやすい体制づくりに努めた。
- ・介護予防・重度化予防の取り組みの強化の内、「楽しみ」の機会が少ないとの利用者からの声を受け、行事等の在り方の見直しをした。
- ・療護園でのACPの取り組みや看取り介護の検討を開始した。
- ・法人本部のリスクマネジャーの指導のもと、高齢・障害の一体的なマニュアル（標準的なケア・事故予防・事故対応等）を作成した。その作成過程で現看護・介護業務の点検を行った。
- ・介護チームにて多言語の介護チェックシートの作成を行った。
- ・老朽化の顕著な浴室及び入浴のあり方の検討を行い、現入浴状況の課題の整理を行った。

④ 災害・感染症への対応

- ・事業継続計画（BCP）における緊急参集基準の周知を行った。
- ・自然災害（洪水・集中豪雨・風水害・地震）発生時に備えた訓練の実施と積雪時の対応を確認した。
- ・クラスター発生等に際し、京都桂病院・京都大学の感染対応の専門家に巡視及び指導を受けた。
- ・福祉避難所のマニュアルを作成するとともに大規模地震災害に関しての地域のニーズを確認した。
- ・新型コロナクラスター時を含む職員確保困難時、園内応援体制の窓口を一本化し協力体制ができた。看護職の応援体制に備え、京都桂病院を含めた法人内調整の連絡窓口の整備を行った。

⑤ 地域における公益的な取り組みの推進

- ・地域活動（桂川ふれあい祭り・川岡東小学校運動会・防災フェスタ等）に、積極的に参加した。
- ・施設機能を活用した居場所づくりを検討、地域包括・学区社協により8年度から実施する運びとなった。
- ・中学校チャレンジ体験・教員介護体験・小・中・高校の福祉体験・福祉教育・イベントボランティア等、積極的に受入れ、ニーズや学生の個性を含めた学校連携を強化した。
- ・療護園は、7年度から義務化された地域連携推進会議を開催、地域・利用者・家族との情報交換等を行った。

3. 実績報告

事業名	定員	年間利用者数	稼働率
① 京都市桂川特別養護老人ホーム (介護老人福祉施設/365日)	50名 (50名)	17,336名 (17,847名)	95.0% (97.8%)
② 京都市桂川老人デイサービスセンター (通所介護/309日) ※休業1日間	25名 (25名)	5,462名 (5,487名)	70.7% (71.0%)
③ 京都市桂川療護園 (障害者支援施設/365日)	40名 (40名)	14,143名 (14,310名)	96.9% (98.0%)
④ 京都市桂川障害者デイサービスセンター (生活介護/258日) ※休業1日間	20名 (20名)	4,725名 (4,900名)	91.6% (95.3%)
⑤ 久世障害者デイサービスセンター (生活介護/258日) ※休業1日間	20名 (20名)	4,292名 (4,269名)	83.2% (83.1%)

() は前年度

※その他実施事業

京都市桂川特別養護老人ホーム（老人短期入所生活介護）、桂川居宅介護支援事業所（居宅介護支援）、京都市桂川地域包括支援センター（地域包括支援センター予防/委託）、京都市桂川療護園（障害者短期入所）、久世障害者デイサービスセンター・ショートステイ（障害者短期入所）、久世障害相談支援事業所（障害者相談支援）

4. 職員数 ()は前年度

常勤職員	非常勤職員	派遣職員	合計
75名 (76名)	53名 (50名)	24名 (21名)	152名 (147名)

5. 施設整備等（設備投資）

① 介護用ベッド(特養 4台/療護 3台)	1,864,500円
② ティルト&リクライニング介助型車いす(特養 1台)	113,500円
③ ハイローストレッチャー(特養 1台)	360,250円
④ ノートPC(特養 5台/居宅 2台/包括(委託) 2台/療護 7台/久世 3台)	2,419,656円
⑤ ヤリスHEV 一式(療護)	2,398,385円
⑥ 冷却水系統薬注装置設置工事(療護)	875,600円
合計	8,031,891円